

ソフトウェア導入決裁者各位

Slack の有料プランを導入すべき理由

この文書では、Slack の有料プランを導入するメリットを踏まえたうえで、組織全体のコミュニケーション、コラボレーション、生産性向上に与える影響、さらに見込まれる費用対効果を説明します。

現状

現在利用している Slack の無料プランでは、メッセージ履歴やインテグレーション、生産性向上機能の利用に制限があります。現状では過去の重要な情報をさかのぼって参照することが難しく、必要なツールとも十分に連携もできません。その結果、チームの業務効率や生産性に悪影響を及ぼしています。

解決策

Slack をアップグレードしてビジネスの基本システムとして活用することで、仕事の流れがスムーズになり生産性の改善が期待できます。類似のサービスと比較しても、Slack はあらゆる用途に対応できるツールです。例えばアプリを連携できるサービスはほかにもありますが、自動化、コラボレーション、検索可能なナレッジ、AI とともに利用できるのは Slack 以外にありません。

Slack はコストパフォーマンスに優れていると同時に、導入が簡単で定着しやすく、万全なセキュリティを備えたツールです。それぞれ詳しく説明します。

優れたコストパフォーマンス

有料プランの利用にはコストが発生しますが、導入後は投資に対する大きなリターンが期待できます。Slack が 2,047 社に対して行った 15 分間のオンライン調査では、91% の企業が Slack 導入後 10 か月以内に 30% の ROI (投資利益率) を達成したことがわかりました。つまり、Slack の利用コストよりも、Slack の利用により生まれた収益の方が 30% 高かったということです。

この高い費用対効果は、Slack の利用によって従業員の生産性が向上した結果です。同じ調査では、Slack 導入企業が応答時間、コラボレーション、意思決定、課題解決、従業員エンゲージメント、そしてチームワークを平均 30% 改善したことも示されました。

この改善に貢献したのが以下の 3 つの要素です。

インテグレーションで既存ツールの ROI が向上

有料プランでは、Slack と連携できるツールの数に制限がありません。2,600 以上のアプリがすぐに利用できる状態で用意されているほか、社内で開発したツールのインテグレーションも可能です。普段よく使うツールを Slack と連携させれば、アプリを切り替える手間や時間がなくなるため、仕事への集中力を維持できます。

なお、Slack を導入した企業では、Slack と連携させたツールの利用率が 28% 向上したことがわかっています。つまり、すでに導入したツールの価値と ROI も Slack によって最大化するということです。

自動化機能で業務時間を削減

有料プランでは、検索結果の向上、スレッドの要約、指定した期間や会話のまとめ作成などが行える **AI アドオン機能** の購入が可能です。この活用により、週 97 分の業務時間削減効果が見込まれ、生産性と ROI の向上が期待できます¹。

もう 1 つ注目すべきは、繰り返し発生する提携タスクを自動化できる **ワークフロービルダー** です。外部アプリと連携した複雑なワークフローも簡単に作成できるため、プロジェクトのスピードが向上します。なお、ワークフローを活用した自動化で節約できる時間は最大 35% にのぼります。

(※注: 自社が Salesforce も利用している場合、さらなる時間節約を実現する自動化ツールも利用できます。詳細は **Agentforce** をご確認ください)

ナレッジ共有、プロジェクト管理、コミュニケーションが効率化

Slack をアップグレードすると、すべてのメッセージ履歴にアクセスできます。過去の決定事項、資料、関連情報をいつでも参照できるのは、現在だけでなく未来のメンバーにとっても大きなメリットです。

また、**Slack コネクト** を使って外部の組織とチャンネルで連携できるようにもなります。社外の関係者に連絡する際も、同じチームのメンバーと同様にやり取りするため、メールなどほかのツールへの切り替えは不要です。チャンネルで連携する社外パートナーとも、アプリやワークフローを活用して仕事を進められるため、協業の質やスピードも向上します。

さらに、ナレッジ共有やプロジェクト管理を行う場面でも、Slack から離れる必要はありません。『ハーバード・ビジネス・レビュー』によると、異なるツール間でタスクの切り替えに費やす時間は、年間で最大 5 週間にもものぼります²。この時間には、実際にツールを切り替える時間だけでなく、別のツールに適応するまでの認知負荷も含まれます。こうした時間の無駄を省くには、ツールの切り替え自体を減らすことが重要です。プランをアップグレードすれば、Slack に組み込まれた生産性ツールを活用して Slack 上でさまざまな仕事を進められるようになります。例えば **Slack canvas** と **Slack リスト** を利用すれば、プロジェクト管理やナレッジ共有を Slack 上で進められるだけでなく、関係者に通知を送り、タスクを割り当てることも可能です。

ほかにも、**Slack ハドルミーティング**を利用すると、会議も効率化します。ビデオ会議を Slack に内蔵されたツールで行うことで、会議中に共有したファイルが Slack 上に自動で保存され、終了後に検索および参照するのも簡単です。また、**Slack AI**を追加すれば、発言の文字起こしや議事録生成が自動で行われるため、参加者は議論に集中でき、終了後も効率的に仕事を進められます。これにより、コラボレーション速度の向上が期待できます。

導入が簡単で、定着しやすい

Slack の有料プランは、アップグレード後すぐに利用が可能です。管理者向けにはさまざまなカスタマイズオプションが用意されており、使いながらカスタマイズを進められるため、新ツール導入の際によくあるダウンタイムはほとんど発生しません。

Slack は使いやすさを重視して設計されたツールです。ユーザーは直感的に操作でき、特別なトレーニングを受けなくてもすぐに使うことができます。例えばワークフロービルダーは、コーディングの知識がない人でも自動化を実装できる機能です。またすぐに適用できる各種テンプレート（ワークフロー、canvas、リスト）も用意されているため、仕事のスピードが上がり生産性が大きく向上します。

また必要に応じてユーザー自身が学べる**ヘルプセンター**をはじめとしたさまざまなリソースがあるほか、日本語対応の**カスタマーサポート**も提供されており、技術的な問題が発生した際にも安心です。

万全のセキュリティ

ビジネスコミュニケーションツールを導入するうえで、安全性や信頼性は非常に重要です。Slack は、全ユーザーとデータをあらゆるレベルで保護する強力なセキュリティ機能を備えたツールです。**シングルサインオン(SSO)**、**セッション有効期限の管理**、**2要素認証(2FA)**、**アクセスログの表示**機能でワークスペースへのアクセスを管理できるほか、データの**エクスポート**や**保存**設定で社内の機密情報を適切に管理することも可能です。さらに、データは送信中と保存時の両方で暗号化されるため、情報漏えいのリスクを最小限に抑えられます。

コスト

Slack の有料プランへのアップグレード費用は、プランやユーザー数によって異なります。各プランの料金は slack.com/pricing をご確認ください。

結論

Slack 有料プランの導入により、コミュニケーション、コラボレーション、生産性が向上します。そのメリットは利用コストを上回るうえ、リスクの適切な管理も可能になります。結論として、Slack をアップグレードする価値はあると考えられます。